



令和6年度 学校経営計画(概要版)

令和6年4月1日
中央区立日本橋中学校
校長 平野 雅仁

本校の教育目標

平和で民主的な文化国家の担い手として、広く国際社会に貢献できる資質と誇りをもった国民の育成を目指して、次の目標を設定する。

○考える人になろう **○心ゆたかな人になろう** **○たくましい人になろう** **○みんなのためにつくす人になろう**

目指す学校像 「凜として 確かな学びで大きく伸びる日本橋 心通わせ夢叶う学校」

目指す生徒像 「輝く未来を語り合い 創造することのできる生徒」

具体的な学校の姿

生徒一人一人を大切に学習指導で確かな学力が向上する学校

充実した体験活動や人間関係で豊かな人間性をはぐくむ学校

学校生活及び生涯にわたり健康に過ごせる心身が育つ学校

地域愛や奉仕の心をもつ生徒を育て保護者地域の期待に応える学校

- 「考える人」を育成するために
- (1)各教科の年間指導・評価計画の充実を図る。
 - (2)国数英で少人数、習熟度別指導で個に応じた指導を充実させる。
 - (3)授業規律を徹底し、基礎基本の確実な定着を図る。
 - (4)校内研究を充実させ、以下の授業を目指し、質を高める。
・問題解決的 ・交流が活発
・分かる実感 ・社会に繋がる
 - (5)各種検やタブレット、サプリノートの活用を通し、学習習慣の確立を図る。

- 「心ゆたかな人」を育成するために
- (1)人権教育の徹底を図り、いじめ・不登校・問題行動等の未然防止、早期発見解決に努める。
 - (2)道徳科の時間で話し合い活動を充実させる。
 - (3)体験活動に主体的に取り組ませ、達成感や充実感を味わわせる。
 - (4)自律的な活動に率先して取り組み、学校・学年・学級等の所属意識を高める。

- 「たくましい人」を育成するために
- (1)キャリア教育を充実させ、望ましい未来を創造する力を育む。
 - (2)東京五輪・パラリンピック教育「学校2020レガシー」を推進する。
 - (3)生徒が体を動かす機会を充実させ、健康・運動に関する主体性を育てる。
 - (4)講演会等の体験活動を充実させ、自己を向上させようとする意識を高める。

- 「みんなのためにつくす人」を育成するために
- (1)校内・地域活動等への積極的参加を通して資質・能力を発揮させ、奉仕の精神を醸成する。
 - (2)生徒会主催の Sweeping キャンペーン(ボランティア)等を生徒の主体性を育む取組とする。
 - (3)日本橋の歴史・文化に関心をもたせ、地域へ貢献する心を育む。
 - (4)自然災害や感染症等の日本や世界情勢の課題に関心をもたせ、当事者意識をもたせる。
 - (5)開校50周年を迎えるにあたって、本校の歴史と伝統を振り返り、愛校心を育む。

教職員が生徒に何が出来るか考え自ら行動する学校

- ◎生徒に信頼を得られる授業力
- 生徒一人一人を大切に言動
- 生徒や保護者が相談しやすい姿勢
- 人権感覚を磨き、配慮した環境整備

保護者・地域・学校が連携した学校

- ◎丁寧な保護者への連絡(タブレット・サプリノート)
- 生徒主体の学校行事の充実
- 地域行事への積極的な関わり
- 広報活動の充実(たより、HP等)